

# SKHBR-7002 の進化“板” SKHBR-7001A

## JRC MUSES7001/NJD7002/ROHM SCS206 用 ハーフブリッジ基板 (2枚セット)

SKHBR-7001A は、JRC MUSES7001/NJD7002, ROHM SCS206 用ハーフブリッジ基板です。Φ35 サイズのブロックケミコン端子に取り付けて使用します。センタタップ整流×2 (図1)、またはブリッジ整流 (図2) に使用できます。極性確認用 LED (赤、青) を付属させましたので、配線時の接続確認が容易になりました。さらに、ケミコンの充電状態もわかり、アンプ製作が安全にできます。DC 50 V 以下でご使用ください。

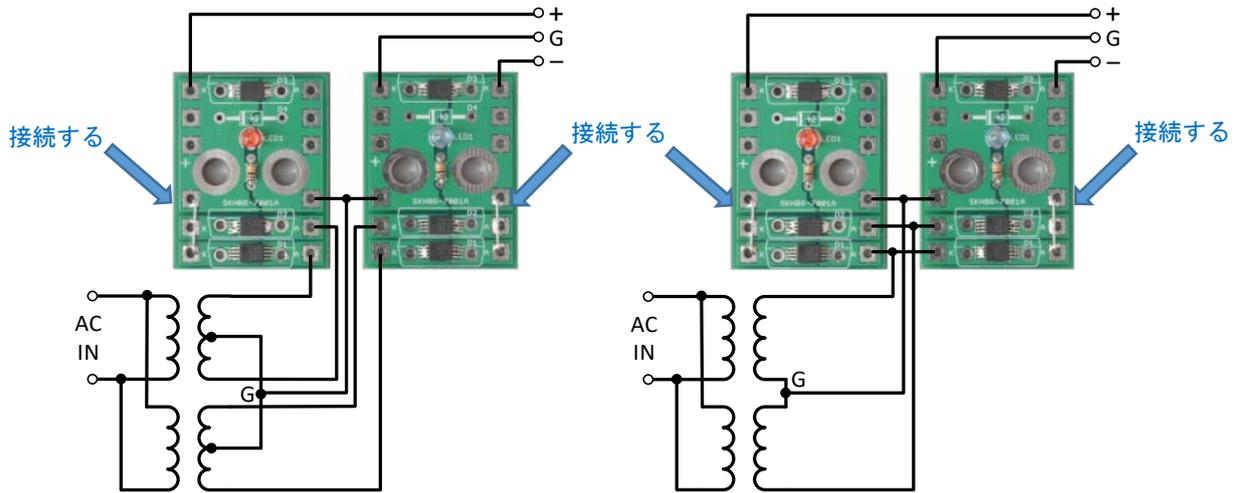


図1 センタタップ整流×2

図2 ブリッジ整流

プリアンプ、D/A コンバータなど、DC 500mA 以下のアンプには、NJD7002 をお勧めします。もちろん、お金に糸目を付けないのなら MUSES7001 がベストです。

NJD7002 は、○マークがある方がカソード(K)です (図3)。図3に示したように、ピン間にハンダブリッジができて構いません。基板から浮かないように取り付けてください。LED は赤、青とも、リードの長いほうが D4 側です (図3では上側)。電流制限抵抗として 10 kΩ を付属させていますが、35 V 以上で使用するときには 20 kΩ としてください。ハーフブリッジ基板は、極性を間違わないようにケミコンに取り付けてください (図4)。逆に接続すると破損します。

図5に SCS206 取付時を示します。図5のように中心と右側の穴を使用します。パワーアンプなど NJD7002 では電流不足のときにお勧めの SBD です。

図6に MUSES 7001 取付時を示します。音も最高ですが、お値段も...

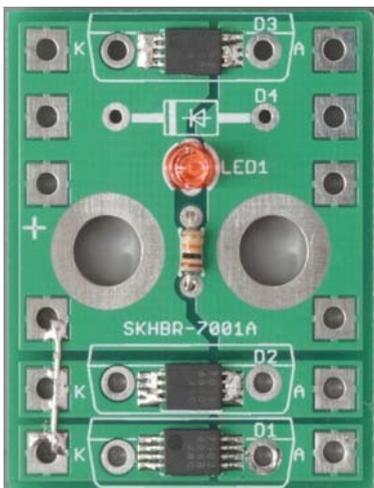


図3 NJD7002 の接続



図4 ケミコンへの取り付け

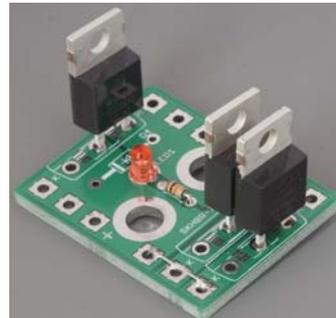


図5 SCS206 取付時

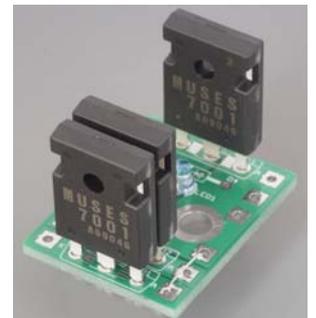


図6 MUSES7001 取付時